

語学アシスタント 8月・9月レポート

那賀高校卒業生 川野 真依

オーストラリアでの生活が始まってから約二か月が経ちました。ホームステイ先がインド人のファミリーなので、インドの方たちが集まるお寺に一緒に行ったり、インドの食事や文化など毎日新しい経験があります。休日には、野生のカンガルーやコアラに会えたり、メルボルンで買い物やカフェに行ったりして過ごしています。



学校では、シニアスクール、ミドルスクール、ベラリンキャンパスの3つのキャンパスで日本語の授業のアシスタントをさせてもらっています。特にシニアスクールでは、原稿用紙を使って日本語の作文を書いたり、日本語で話しかけてくれたりする学生もいて、日本語のレベルの高さに驚きました。授業では、学生から、「を」「に」「は」などの使い分けについての質問があり、普段何気なく使っている日本語でも、相手に理由を説明するとなるととても難しく感じます。

10月には、12年生（高校3年生）の日本語の会話のテストがあるので、授業でもテストに向けての練習が中心になっています。このテストは生徒にとって大学に入るための重要なテストになるので、生徒も真剣に取り組んでいます。なのでスクールホリデー中も、オンラインで会話の練習したり、学校に来て練習したりして準備していました。生徒は、コンビニや花見、お正月などの日本に関係のあるトピックを選び、選んだトピックについての質問に日本語で答えなければなりません。特に日本語が得意な生徒は、スムーズに説明できていて、日本人の私も知らなかった内容もあったので驚きました。

8月からオーストラリアに来て、アシスタントとしての仕事にも少しずつ慣れてきました。12月までたくさんを経験し、この貴重な時間を大切に過ごしたいと思います。